

## 国立大学法人奈良国立大学機構の中期目標（又は中期計画）新旧対照表

現 行	変 更 案	変 更 理 由
<p>【2-5】奈良女子大学においては、専門分野における探究力・研究能力を高めるとともに、学問的視野を広げるために次のプログラムを実施する。</p> <p>（1）第3期中期目標期間に引き続き、学士課程から博士前期課程まで切れ目なく学修・研究活動を行うことで探究力を培う6年一貫教育プログラムを全学部で実施する。</p> <p>（2）専門的な探究に加えて、他分野の知見に触れることで学問的視野を広げるために、令和3年度に設置された副専攻プログラム（地域志向、ジェンダー、グローバル）を引き続き実施するとともに、社会や学生のニーズに即したプログラムを設置する。</p>	<p>【2-5】奈良女子大学においては、専門分野における探究力・研究能力を高めるとともに、学問的視野を広げるために次のプログラムを実施する。</p> <p>（1）第3期中期目標期間に引き続き、学士課程から博士前期課程まで切れ目なく学修・研究活動を行うことで探究力を培う6年一貫教育プログラムを全学部で実施する。</p> <p>（2）専門的な探究に加えて、他分野の知見に触れることで学問的視野を広げるために、令和3年度に設置された副専攻プログラム（地域志向、ジェンダー、グローバル）を引き続き実施するとともに、社会や学生のニーズに即したプログラムを設置する。</p> <p><u>（3）全学的な情報教育を拡充することで生活者目線に立った高度情報専門女性人材を育成するため、大学・高専機能強化支援事業の仕組みを活用し、生活環境学部文化情報学科では令和7年度に20名（学部学生12名、編入学生8名）の入学定員の増員を行う。なお、増員分の定員について第5期中期目標期間終了時までには他学部・他学科を中心に減じる方針を第4期中期目標期間終了時まで決定する。</u></p>	<p>大学改革支援・学位授与機構が実施する「令和5年度大学・高専機能強化支援事業（高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）」に採択された。これに伴う生活環境学部文化情報学科の入学定員の増員について、大学設置・学校法人審議会による設置審査（意見伺い）を受審し令和6年8月に許可された。</p> <p>本学においては本事業を全学的な情報教育推進の契機と捉え、副専攻（情報科学）を新設したほか他分野と情報科学の融合研究や他分野から情報科学分野への進学を推奨するため、定員増を行う。</p>
<p>評価指標</p>	<p>【2-5-1】6年一貫教育プログラムの既存学部における継続</p>	<p>評価指標</p>
	<p>【2-5-1】6年一貫教育プログラムの既存学部における継続</p>	

実施と工学部における新規の実施  
**【2-5-2】** 新しいプログラムの設置、副専攻プログラム履修  
 者数の増加、選択した学生によるプログラムの評価〔肯定的評価が80%以上〕

実施と工学部における新規の実施  
**【2-5-2】** 新しいプログラムの設置、副専攻プログラム履修  
 者数の増加、選択した学生によるプログラムの評価〔肯定的評価が80%以上〕

別表 学部、研究科等及び収容定員  
**【奈良教育大学】**

学部	教育学部	1,020人
	(収容定員の総数)	1,020人
研究科等	教育学研究科	140人
	(収容定員の総数)	
	修士課程・博士前期課程	40人
	専門職学位課程	100人

**【奈良女子大学】**

学部	文学部	632人
	理学部	560人
	生活環境学部	<u>588</u> 人
	工学部	200人
	(収容定員の総数)	<u>1,980</u> 人
研究科等	人間文化総合科学研究科	510人
	(収容定員の総数)	
	修士課程・博士前期課程	396人
	博士後期課程	114人

別表 学部、研究科等及び収容定員  
**【奈良教育大学】**

学部	教育学部	1,020人
	(収容定員の総数)	1,020人
研究科等	教育学研究科	140人
	(収容定員の総数)	
	修士課程・博士前期課程	40人
	専門職学位課程	100人

**【奈良女子大学】**

学部	文学部	632人
	理学部	560人
	生活環境学部	<u>640</u> 人
	工学部	200人
	(R7入学定員増)	
	(収容定員の総数)	<u>2,032</u> 人
研究科等	人間文化総合科学研究科	510人
	(収容定員の総数)	
	修士課程・博士前期課程	396人
	博士後期課程	114人